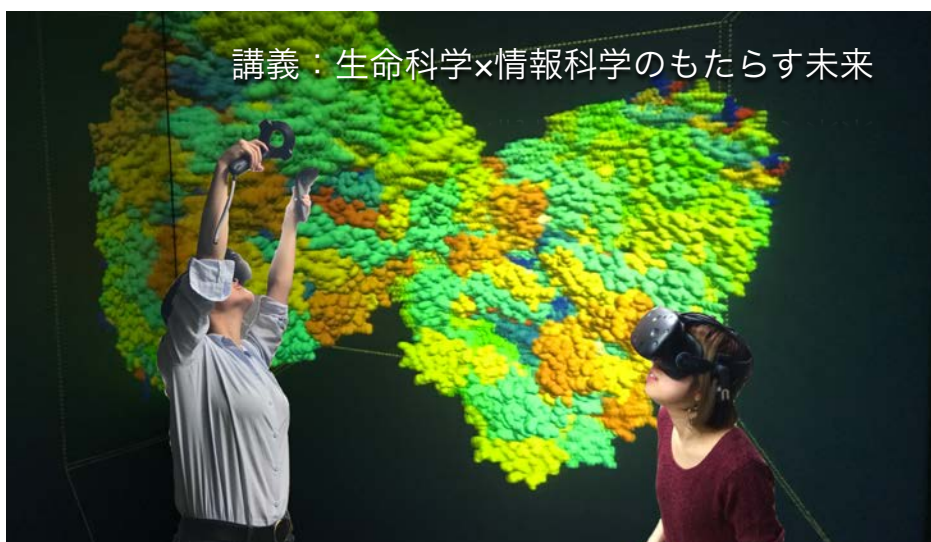




GFPタンパク質の精製



講義：生命科学×情報科学のもたらす未来



大学の実験室で講義&実験体験



タンパク質構造の  
仮想空間(VR)表示体験

ひらめき☆ときめきサイエンス

強くて優しいシャペロニンの話

-ウェット(生物)×ドライ(情報)の新しい生命科学-



このプログラムは、(独)日本学術振興会科研費JP24HT0072の助成を受けたものです。

ひらめき ときめき 検索

2024年8月10日 土曜日 10:00~16:30

神奈川工科大学 C6号館 (募集人数20名)

タンパク質の働きは生命活動に重要で、細胞の形態を保持したり、代謝反応を実行したり、免疫を担うものもあります。タンパク質は固有のかたちをとることによってその機能を発揮できるため、細胞がストレスにさらされて温度やpHなどの条件が変化しタンパク質分子の立体構造が変化すると、本来の働きを失って病気を引き起こす危険性もあります。生物は、タンパク質の構造が壊れていないか常に監視し、壊れている場合は再生か分解かを判断するシャペロンというタンパク質ももっています。本プログラムでは、タンパク質実験の体験のほかに、最新技術による仮想空間でのタンパク質分子の世界に誘います。

問い合わせ先：小池 あゆみ (神奈川工科大学工学部教授)

E-mail: koike@bio.kanagawa-it.ac.jp